

・グランド・バレエ・シアター・

世界を股に掛ける、ウクライナ新進気鋭のバレエ団が今冬、ついに日本初上陸。
人民芸術家として、ウクライナのバレエ芸術を率いるテチャナ・ホリャコフが今年芸術監督に就任。
新章が幕を開けたバレエ団による、冬の名作「くるみ割り人形」をお届けいたします。

くるみ割り人形は、ドイツ人作家E.T.A.ホフマンの「くるみ割り人形とねずみの王様」をもとに、M.プティパが台本を書いた、P.チャイコフスキーのバレエ作品。1892年に創作され、帝室劇場(現マリインスキー劇場)にて初演されました。クララを子役、こんぺい糖の精をプリンシパルが踊るイワノフ版(初演)、また、どちらもプリンシパルが踊るワイノーネン版(改訂)が2大演出として親しまれています。

——クリスマス・イヴ。シュタールバウム家には、パーティの招待客が集まり始めます。最後に到着したのは、ドロツセルマイヤー。クララの名づけ親です。おもちゃに命を吹き込む彼のマジックは、子供たちを魅了し虜にします。ドロツセルマイヤーは、クララにくるみ割り人形を贈りました。不格好なこの人形を他の子どもたちはからかいますが、クララはとても気に入った様子。やがて楽しい時間は終わりを告げ、お別れの踊りを踊ると、招待客はそれぞれ帰路につくのです。その夜、くるみ割り人形が気になったクララは大広間にやってきました。12時の鐘が鳴ると、魔法がかかったように、みるみると小さくなっていくクララ。そこにネズミの王様とネズミの軍団が現れます。対するはくるみ割り人形とおもちゃの兵隊。激しい戦いの末、勝利を収めたくるみ割り人形は、可憐な王子に変身しました。

王子はクララを連れて、幻想的な雪の舞う森を抜け、おとぎの国へ。おとぎの国のお菓子のお城では、クララを歓迎するパーティが開かれています。各国のお菓子の妖精たちがそれぞれ踊りを披露し、クララはこんぺい糖の妖精となり、王子と踊ります。夢のようなひと時を過ごしたクララ。その朝、眠りから覚め全てが夢だったと知ったクララは、くるみ割り人形がいっそう愛おしくなり、優しく腕に抱き寄せるのでした——

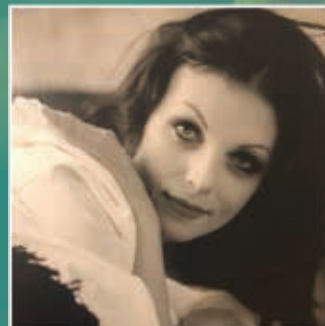
くるみ割り人形は、美しく知的で、現代にふさわしいおとぎ話です。これは、夢が人生を変え、善が悪に打ち勝ち、優しさが世界をより良い方向に導いてくれるという教訓を示す物語です。この公演が、みなさまにとって素晴らしい贈り物となる事を願っております。くるみ割り人形の物語に触れることは、忘れられない体験となるでしょう。そして、もしかするとドロツセルマイヤーの魔法がかかり、クリスマス・イヴには不思議で忘れられない、何か最高な出来事が起こるかもしれません…!

芸術監督／テチャナ・ホリャコフ Tetiana Holiakova

ウクライナ共和国人民芸術家。ウクライナ国立歌劇場バレエ団のトップとして長年活躍し、2022年に現役引退後の現在は指導者として後進の育成に力を注いでいる。

1992年ディアギレフ国際コンクールに参加したことを皮切りに、セルジュ・リファール記念国際バレエ・コンクール最優秀賞、ローザンヌ国際バレエ・コンクール入賞、ルクセンブルグ国際バレエ・コンクールグランプリなど輝かしい成績を残す。

これまでに、日本をはじめ、ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、スイス、ベルギー、オーストリア、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリアなどの海外ツアーに参加。2025年に、新生バレエ団であるキーウ・グランド・バレエ・シアターの芸術監督に抜擢され、これからの活躍に期待を寄せられている。レパートリーは「白鳥の湖」オデット／オディール、「眠れる森の美女」オーロラ、「くるみ割り人形」クララ、「ドン・キホーテ」キトリ、「ラ・シルフィード」シルフィード、「ロミオとジュリエット」ジュリエット、「カルメン組曲」カルメンほか多数。素晴らしい表現力と芸術性を誇り、クラシック作品だけでなくジョージ・バランシン作品などのコンテンポラリー作品にも定評を得ている。



キーウ・グランド・バレエ・シアター Kyiv Grand Ballet Theatre

2014年設立。2025年にウクライナ国立歌劇場バレエの元プリンシパルダンサーであるテチャナ・ホリャコフが芸術監督に就任。ウクライナのバレエダンサーを中心とし、世界各国へのツアー公演を主に活動している。これまで訪れた国は、アメリカ、フランス、ドイツ、中国、スペイン、オランダ、ポーランド、ノルウェイ、ベルギー、スウェーデン、チリなど多数。主なプロダクションレパートリーは、『ドン・キホーテ』『ジゼル』『白雪姫』『カルメン組曲』『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』など。このほかモダン作品もこなすなど多岐に渡る。パリ・オペラ座やオマーン王立劇場、オスロ・オペラハウス、東京文化会館などの権威ある舞台上で活躍するダンサーたちとともに活躍の場を次々と広げ、新進気鋭のバレエ団として今後に期待が寄せられている。

ご注意とお願い 予め下記の事項をご了承くださいますようお願い致します

- ※3歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。4歳以上有料です。
- ※演奏は特別録音音源を使用いたします。 ※開演後の入場は制限する場合がございます。
- ※上演中の写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。
- ※本チラシに記載の事項はやむを得ない事情により変更となる場合がございます。
- ※ご購入後のチケットのキャンセル(払い戻し)や変更、紛失による再発行は一切できません。
- ※営利目的の転売行為は法令により禁止されております。転売チケットのご使用が発覚した場合はご退場いただく場合がございます。

子供無料招待席のお申込み方法は一般と異なります

ご希望の方は、**ローソンチケット専用サイト**まで▶

<https://l-tike.com/st1/kgb2025-kodomo>



6/27(金)10:00〜発売

<令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業>

子供たちに本格的な実演芸術の鑑賞・体験等をする機会を提供する事を目的とし、

4歳以上～18歳以下のお子様を無料招待致します。

(対象者：平成19年4月2日以降に生まれた4歳以上18歳以下の方)

- ※ご招待席は150席です。先着順にて、定員に達し次第終了となります。
- ※同伴する保護者(子供2名までに対し1名)は一般料金の半額となります。(先着70席)
- ※招待席・保護者席のお申込みは事前予約のみ、当日券での受付はございません。
- ※当日に年齢確認を行います。お子様の年齢確認が出来るものを必ずご持参ください。
- ※小学生以下のお子様は保護者の方同伴でお越しください。
- ※その他、注意事項を必ずご確認ください。▶ <https://impres-tokyo.com>